

ふくしまの子どもたちによりそって、
いじめや虐待・性暴力などのあらゆる暴力から
自分を守るためのプログラムを届けましょう！



キャップ CAPスペシャリスト養成講座 in 福島

日 時	基礎編	2016年8月19日(金)・20日(土)・21日(日) -計24時間-
		(1日目10:00~18:00/2・3日目9:15~17:15)
	実践編	2016年10月15日(土)・16日(日) -計16時間-
		(1日目10:00~18:00/2日目9:15~17:15)
場 所	ラコパふくしま 会議室A	
	(福島県福島市仲間町4-8	TEL 024-522-1600)

CAPとは、Child Assault Prevention(子どもへの暴力防止)の略で、子どもたちがいじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力といったさまざまな暴力から自分を守るための教育プログラムです。

この講座はCAPプログラムを実践する暴力防止の専門家(CAPスペシャリスト)を養成する講座です。このたび、福島市にて養成講座を開催いたします。被災地へCAPワークショップを届けるCAP活動に賛同いただく方々の養成研修と なっています。

子どもに関わる全てのおとな(親、教師、保育士、幼稚園教諭、保健師、看護師、電話相談員、カウンセラー、子ども会のリーダー、児童相談所のスタッフ、教育関係者……)に受講していただき、CAPの理解者と実践者として、震災復興の中で共に子どもの人権が尊重される社会を創る仲間になってください。

子どもへの暴力防止の
知識とスキルを学ぶ基礎講座

対 象：18歳以上の方 **定 員**：40人 **受講料**：福島県の方は無料(テキスト代4,200円)
講 師：J-CAPTA トレーナー 田中明子・矢島宏美

※J-CAPTAはCAPプログラムの使用に関する権限をもつICAP(International Center for Assault Prevention)から認可された日本のCAPトレーニングセンターです。(ホームページ<http://j-capta.org/>)

申込み・問い合わせ：受講申込書に必要事項をお書きの上、FAXまたはメールでお送りください

※先着順にて受付け、定員になり次第締切ります。

特定非営利活動法人ビーンズふくしま ふくしま子ども支援センター

TEL： 024-573-0150 FAX： 024-573-0151

E-mail: info-ccscd@beans-fukushima.or.jp

※**参加条件**：基礎編(3日間全24時間)を受講できること。

※CAPスペシャリストの資格を取得するには、加えて実践編2日間の受講が必要です。

※当日託児を利用希望の方は、受講申込書へ必要事項をご記入の上、お申込みください。

※なお定員に空きがある場合は、県外の方も受け付めますので下記J-CAPTAへご連絡ください。

主催：一般社団法人 **J-CAPTA**(Japan CAP Training & Action)

TEL/FAX 011-666-8517 / メール j-capta@j-capta.org

福島県・ふくしま子ども支援センター(受託運営：NPO 法人ビーンズふくしま)

協力：こどもCAPふくしま (024-584-3126)

CAP スペシャリスト養成講座の内容

基礎編 3日間 24時間	オープニング・サークル	講座目的・グラドルール
	講義Ⅰ 防止教育の思想と理論	1. 子ども虐待問題に関わる4つの分野 2. 子ども虐待への対応の歴史 3. 子どもの権利 4. エンパワメントの思想と方法 5. レイプのフェミニスト分析 ビデオ、「NOW I CAN TELL YOU MY SECRET」
	講義Ⅱ 子ども虐待問題の知っていなければ ならない基礎知識	1. 子ども虐待の分類 2. 児童虐待防止法 3. 沈黙の役割 4. 性的虐待の4つの前提条件 5. 性的虐待順応症候群 6. ドメスティック・バイオレンスと子ども
	講義Ⅲと練習・コーチ 子どもワークショップ	1. CAP 子どもワークショップの実演 2. 実施に関する留意事項 3. 練習・発表・コーチ
	講義Ⅳと練習・コーチ ワークショップ後のトークタイム	1. トークタイムの目的 2. トークタイムにおける防止スペシャリストの役割 3. クライシスカウンセリング（緊急相談）の方法と技術 4. 虐待、いじめを受けている子の示す兆候 5. 練習・発表・コーチ
	講義Ⅴ おとなワークショップのやり方	1. おとなワークショップの目的 2. おとなワークショップの流れ 3. おとなワークショップでの質問への対応
	講義Ⅵとクロージング・サークル	CAP の実践について、確認事項
実践編 2日間 16時間	オープニング・サークル	CAP とわたし
	ゲスト講師による講義	「児童相談所の機能と役割、その権限」 ～虐待対応における市町村および学校との連携～
	おとなワークショップの実践	①打合せから振り返りまで ②実施のポイント ③学校理解を深める ④練習・発表・コーチ
	子どもワークショップの実践	①実施にあたっての留意事項 ②ファシリテーター、 ロールプレイヤーの役割と実施のポイント ③練習・発表・ コーチ
	トークタイムの実践	①トークタイムの持ち方 ②トークタイムで出会った子 どもたち ③トークタイムのつなげ方 ④練習・発表・ コーチ
	クロージング・サークル	今後のCAP活動に向けて、CAP スペシャリスト認定証授与

受講すると何ができるのか？

CAP スペシャリスト養成講座（5日間40時間）を受講すると、CAP スペシャリストの資格を認定いたします。CAP スペシャリストはCAP プログラムを実施することができます。ただしその場合は地域のCAP実践団体に所属することが必要です。

CAP スペシャリストとして活動しない方は、基礎編のみの受講も可能です。

JCAP311Project-2016 J-CAPTA&日本ユニセフ協会連携事業継続中！

岩手県の沿岸地域の子どもたちに、無料でCAPワークショップを届けています

CAP プログラムについて

現在 CAP は、多くの幼稚園・保育園、小中学校、特別支援学校や児童養護施設等で実施されています。

子どもワークショップ…子ども対象のプログラムです。クラス単位で実施します。年齢や障がいのニーズ等によってプログラムの内容や所要時間が違います。ロールプレイ（役割劇）を見たり参加したりなど、参加体験型の学習形態で自分の感じたことや考えたことを話し合いながらすすめます。一人一人が尊重されて楽しく暴力防止の具体的な方法を学びます。

おとなワークショップ…保護者や教職員、地域の人など、おとなを対象にしたプログラムです。子どもと暴力についての正しい知識を知り、子どもの人権尊重とエンパワメントの支援のあり方について考えます。おとなワークショップは単独でも実施できますが、子どもワークショップを実施する際には、事前に教職員ワークショップと保護者ワークショップが必要です。

詳しくはホームページでチェック☞<http://j-capta.org>

CAP ワークショップを受けた感想

・ぼくは、5年生の時ちょっといじめられていました。今、日本中でいじめによる自殺が続いています。同じ人間として悲しいと思いました。ぼくは日本中の子どもにCAPが必要だと思います。なぜかというところCAPはいじめや暴力のことについて正しく話してくれ、人権のことも話すので、いじめられている人は勇気が出るし、いじめている人も気づくと思うからです。(小学生)

・安心・自信・自由を誰にも奪われたいかと思った。自分らしさを大切にしたい。いやな事があたら友だちに相談したいし、友だちの相談を一生懸命にきいてあげたいです。暴力は絶対にしない、させられない。(中学生)

・劇を实际やってみると、どうするのいいかもっと知ることができました。みんなの力をかりることで、自信を持つということもわかりました。楽しい時間をありがとう。(小学生)

・私が無気なく言っていた言葉が、子どもが話そうとするきっかけを失っていたことに気がきました。意識的に子どもの話をしっかりと聴くようになったら、子どもが自分から話してくれるようになりました。(教師)

・中学生の娘が学校から帰る途中男に肩をつかまれ声をかけられました。「やめてください」と言っても手を放してくれないので、大声で叫び逃げて帰ってきました。娘は相当ショックを受けたようです。「大きな声が出せて良かったね」とほめてやると、「小学校3年生の時に受けたCAPの事を思い出して声が出た」との事。当時私もCAPを受け子どもと一緒に練習していました。不審者情報があるたびにそのことを話してきたことが幸いしたようです。(保護者)

CAP スペシャリスト養成講座 in 福島 受講申込書

必要事項をご記入の上、FAX またはメールでお申込みください。

申込み先：特定非営利活動法人ビーンズふくしま ふくしま子ども支援センター

FAX： 024-573-0151 E-mail: info-ccscd@beans-fukushima.or.jp

※福島県以外の方は、J-CAPTA(011-666-8517/j-capta@j-capta.org)へお問い合わせください。

(フリガナ)

お名前

職業・活動

連絡先住所 〒

TEL/FAX

E-mail

受講希望

<基礎編> 開催地 福島県福島市 日程 2016年8月19・20・21日

<実践編> 開催地 福島県福島市 日程 2016年10月15・16日

※基礎編のみの受講はできますが、実践編のみの受講はできません。

託児利用希望(未就学児対象) 利用人数 名 年齢

<基礎編> 利用希望日 2016年8月19・20・21日

<実践編> 利用希望日 2016年10月15・16日

応募動機

終了後の活動予定

所属 CAP グループ名があればお書きください。

使用テキスト

『新・子どもの虐待』(岩波書店) ¥700 必須です。持っていない方はチェックしてください)

その他テキスト代として ¥3,500 (当日お渡しします)

『CAP 子どもワークショップ実施ガイド』『J-CAPTA 養成講座テキスト』

『Strategies for Free Children』『J-CAPTA 教職員ワークショップ冊子』他

この講座をどのようにしてお知りになりましたか？

CAP グループ・知人・広報誌(チラシ・新聞)・HP、FB・その他()